医療法人社団東光会

戸田中央総合病院

入院のご案内

各種お手続き、入院中の過ごし方、注意事項等のご案内です。

入院される前にご一読いただき、

入院当日は本冊子を必ずご持参ください。

病院理念

愛し愛される病院

＜病院目標＞

- 患者さまの気持ちと意思を尊重する
- いかなる事態にあっても、地域への責任を果たすための努力を怠らない
- 職員のやる気とアイディアを大切にする

＜行動指針＞

- 地域住民、地域医療機関と密着した医療・介護・保健の提供
- 医療・介護に携わる者としての自覚と技術向上のための教育
- 安心、安全な24時間救急体制の充実
- 最新の医療機器と医療技術の導入による高度な医療の提供
- すべての職員が健康でいきいきと活躍できる職場づくりの推進
- 地域に良質な医療・介護・保健を提供し続けるための健全経営の堅持

病院概要

名　　称	医療法人社団東光会 戸田中央総合病院
所 在 地	埼玉県戸田市本町1丁目19番3号
理 事 長	中村　毅
院　　長	佐藤　信也
開　　設	1962年（昭和37年）8月16日
職 員 数	1,500名以上 ※非常勤含む
病 床 数	517床（うちICU10床、CCU6床、SCU9床、緩和ケア18床、回復期リハビリテーション35床）、人工透析30床

＜標榜診療科＞

内科、呼吸器内科、脳神経内科、循環器内科、消化器内科、アレルギー科、リウマチ科、外科、呼吸器外科、乳腺外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、消化器外科、形成外科、婦人科、小児科、皮膚科、泌尿器科、腎臓内科、移植外科、眼科、放射線科、耳鼻咽喉科、救急科、麻酔科、緩和ケア内科、精神科、病理診断科、リハビリテーション科

＜主な医療機関指定・認定等＞

地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、
災害拠点病院、搬送困難事案受入医療機関、
臨床研修指定病院、卒後臨床研修評価機構（JCEP）認定
日本医療機能評価機構病院機能評価認定

戸田中央総合病院

Todachuo General Hospital

Contents

2 病院理念／病院概要
4 あなたの病気について（インフォームド・コンセント）
臨床研修・実習受け入れ病院としてのお願い
5 臨床情報の利用に関するお願い
急性期病院の役割に対するご理解とご協力のお願い
医療・福祉等各種相談窓口
6 かかりつけ医をお持ちの患者さま・ご家族さまへ
ご入院される患者さまへ～医療費について～
7 採血、注射、静脈内留置針による穿刺行為について
8 01 入院について
9 02 入院されるときお持ちになるものについて
10 03 入院手続きについて
11 04 入院中の過ごし方について
15 05 ご家族の皆さまへ
16 06 医療安全上のお願い
17 肺血栓塞栓症の予防法
18 せん妄について
20 07 お会計について
08 退院手続きについて
21 高額療養費制度について
22 09 その他
23 周辺マップ・交通アクセス・各駅からの所要時間

入院から退院までの流れ

外来診察		入退院窓口	病室	入退院窓口	
入院	即日入院 予約入院	入院手続	入院生活 退院決定	退院手続	退院

※入退院窓口はB館東棟1階

あなたの病気について（インフォームド・コンセント）

病気について

主治医からあなたの病気、検査、治療について説明があります。説明について、ご不明な点やご希望がございましたら、主治医または看護師に遠慮なくお申し出ください。

プライバシーを守るために

プライバシーを守るため、あなたの病状等について説明を受ける方を、あらかじめご家族など信頼できる方の中から選んでおいてください。

病室の患者名表示や呼称、電話での入院確認についてご要望をお持ちの方は看護師にお申し出ください。

患者さまの権利

- **あなたには、必要な医療を受ける権利があります。**
  患者さまはどなたでも、個人的な背景の違いや病気の性質に関わらず、必要な医療を受けることができます。
- **あなたには、自由に医療機関を選択する権利があります。**
  患者さまは医療を受けるにあたり、どの医療機関をご利用になるか、自由に選択することができます。
- **あなたには、十分な説明を受けた上で医療内容を選択する権利があります。（インフォームド・コンセント、インフォームド・チョイス）**
  患者さまとご家族は、診察・検査の結果や治療・ケアの内容について、十分に納得・同意ができるまでの説明を医療者から受けた上で、自由な意思に基づいて医療の内容を選択することができます。
- **あなたには、いつでも他の医療者の意見を求める権利があります。（セカンド・オピニオン）**
  患者さまとご家族は、現在受診中の医療機関・医療者による医療内容や説明に関し、いつでも他の医療機関・医療者の意見を「セカンド・オピニオン」として聞くことができます。
- **医療機関・医療者には、あなたの個人情報を保護する義務があります。**
  医療機関・医療者には、業務上知り得た患者さまの個人情報を保護する「守秘義務」があり、患者さまのプライバシーが外部に漏れることはありません。

臨床研修・実習受け入れ病院としてのお願い

当院は厚生労働省より臨床研修病院に指定されており、次世代の医療人の育成に積極的に取り組んでいます。そのため、臨床研修医が診察や検査に同席することがございます。また、大学の医学生、薬学生、看護学生、医療系の専門学校、各種学校（臨床検査技師、臨床工学技士、診療放射線技師、理学療法士、救急救命士など）の実習生を受け入れており、指導者のもとに実習を行っています。その際、チーム医療の一員として受け持たせていただく場合がございますのでご了承ください。

地域医療の貢献のため趣旨をご理解いただき、皆さまのご協力をお願いいたします。なお、ご承諾いただけない場合は主治医、看護師に遠慮なくお申し出ください。

臨床情報の利用に関するお願い

当院では、患者さまの診療過程で得られた病状記録、血液検査、画像情報、写真など、通常の保険診療によって行われる諸検査の結果を、医学の発展のために研究や教育、関係学会などで発表、また学術論文として公表させていただくことがあります。また、検査のために採取された検体を保存しておき、将来、診断や治療に役立てる目的で追加検査を行うことがあります。

いずれの場合も、わが国の医学系研究に関する倫理指針を遵守し、患者さまの氏名や住所などの個人情報を厳重に保護するとともに、画像情報の使用についてはプライバシー保護に十分配慮いたします。また、これら医療情報については医学研究以外に使用しないことを確約いたします。

上記内容についてご理解いただき、その利用にご同意をいただきますようお願い申し上げます。

なお、ご同意いただけない場合は、主治医にお申し出いただきますとともに、別にお渡しする不同意書へのご署名をお願いいたします。ご同意いただけない場合でも、当院での診療につき患者さまに不利益になることはありません。また、一度ご同意いただいた後でも、いつでも同意を撤回することができます。ご不明な点は主治医にお尋ねください。

急性期病院の役割に対するご理解とご協力のお願い

当院は、地域に密着した急性期病院として発症・受傷後間もない患者さまを受け入れ、集中的な治療を行うという使命を負い、平均在院日数は13日となっております。治療が終了し、病状が安定した患者さまにおかれましては、主治医・看護師に加え、医療福祉科の職員が今後の治療や療養支援のお手伝いをさせていただきます。自宅療養がご心配な患者さまには、訪問診療・訪問看護、リハビリテーション病院や長期療養が可能な医療機関・福祉施設のご案内をさせていただいております。

当院が担う急性期病院の役割について、みなさまのご理解とご協力を何卒お願いいたします。

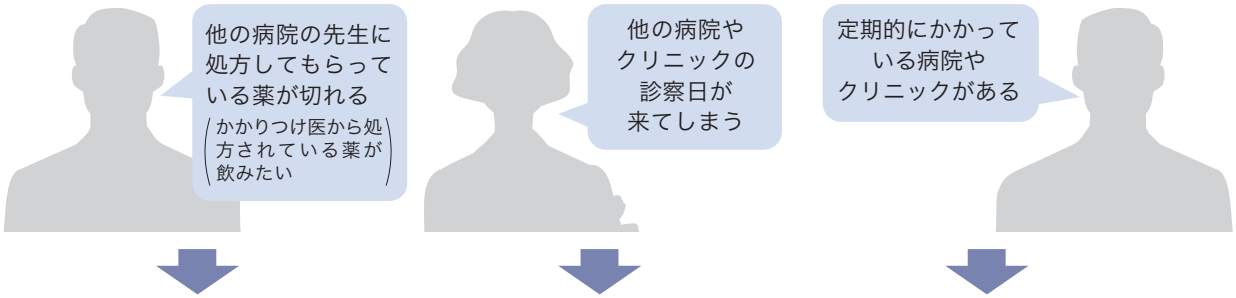
医療・福祉等各種相談窓口

患者さま・ご家族が安心して治療に専念できるよう、療養生活上の心配や福祉制度の利用、退院後の生活への不安に関するご相談がございましたら、各種相談窓口へお気軽にご相談ください。ご利用につきましては予約が必要な場合がございますので、主治医や入院中の病棟看護師にご依頼いただくか、直接お申し込みいただくようお願いいたします。

相談内容	担当部署
福祉制度の利用について（介護保険・身体障害者手帳等）	医療福祉科
経済的問題について	医療福祉科
自宅療養が困難な際の医療機関・福祉施設について	医療福祉科
在宅看護・介護について	病棟看護師・医療福祉科
生命保険の手続きについて	病棟事務
お薬について（服薬方法・副作用等）	病棟担当薬剤師
お食事について（食事療法・治療食等）	栄養科
交通事故について	医事課（事務）
医療者とのトラブル・職員の対応等について	医事課（事務）
医療事故について	医療の質・安全管理室

かかりつけ医をお持ちの患者さま・ご家族さまへ

例えば当院入院中に…



ご入院中は、ご本人・ご家族の方が他の病院への受診やお薬をもらいに行くことはできません。基本的に当院にてお薬の処方等、対応いたします。

※当院での対応が困難な検査やお薬は、他の病院に受診をしていただく場合がございます。その際は、当院で受診先の病院の日程やお支払い方法などを調整し、主治医や病棟看護師、病棟事務より当日のご説明をいたします。ご協力の程、よろしくお願いいたします。

ご入院される患者さまへ

医療費について

入院医療費算定方法について

当院では「包括評価制度（DPC）」を導入しております。

算定方法

個々の診療行為ごとに算定していた医療費を、患者さまの病気や状態をもとに処置・手術等の内容に応じて定められた1日当たりの定額点数を基本に医療費を計算いたします。

1日当たりの定額点数は、診断群分類と呼ばれる区分ごとに、入院日数に応じて定められています。

患者さまの病気がこの診断群分類のいずれにも該当しない場合は、従来の計算方法となります。

出来高払い

※診療行為ごとに算定

- 入院料
- 投薬料
- 注射料
- 検査料
- 画像診断料
- 処置料
- 手術料
- リハビリ・その他

包括払い

※1日当たりの定額点数（包括部分）

- 入院料
- 投薬料（退院処方を除く）
- 注射料
- 検査料（一部を除く）
- 画像診断料（一部を除く）

※個々の点数（従来通り）

- 処置料（一部は包括）
- 手術料
- リハビリ・その他

入院医療費 ＝ **包括評価部分（DPC）** ＋ **出来高部分**

採血、注射、静脈内留置針による穿刺行為について

当院では、採血や点滴のための血管への穿刺は、一定の経験を有する医師・看護師・臨床検査技師等が、医学的に適切な方法で実施いたします。

これらの処置は一般的に安全性の高いものとされていますが、まれに、内出血、痛み、しびれ、感染などの合併症や有害事象が生じる可能性があります。また、症状によっては原因の特定が難しい場合や、長期間持続する場合があります。

以上につき、あらかじめご理解いただきますようお願いいたします。
なお、ご不明な点、ご不安な点がございましたらご遠慮なくスタッフにお申し出ください。

【穿刺行為に伴う主な合併症について】

① 止血困難・皮下出血

穿刺後に青あざ(皮下出血)を生じることがありますので、十分な圧迫止血をしていただきますようお願いいたします。
出血が止まらない時はお申し出ください。

② アレルギー

穿刺時に使用する消毒薬(アルコール)や手袋(ラテックス等)でかゆみ、発疹などのアレルギー症状が出現することがあります。

③ 神経損傷

穿刺行為後に手指へひろがる痛み、しびれなどが生じ、一定時間が経過した後も症状が持続することがあります。皮膚表層近くの神経は個人差が大きいため、神経損傷を100%防止することはできません。
通常の穿刺行為では、太い神経の断裂などの可能性は低く、損傷は軽度で症状は一時的な場合がほとんどですが、穿刺した場所の痛みとは違い、**痛みが強い、手がしびれるなどの症状があればすぐに職員へお知らせください。**

④ 血管迷走神経反射

心理的に緊張、不安が強いと起こりやすいとされ、穿刺行為前に起こることもあります。神経が興奮し、急激に血圧が下がるため、めまい、気分不快感、意識消失などを引き起こします。

※これらの合併症が起きた場合には最善の処置を行います。
いつもと違う症状が現れた際はすぐにご連絡いただきますようお願いいたします。

01 入院について

外来診察の結果、入院の必要があると診断された方は、
各科外来で入院予約の手続きをしていただきます。

■予約患者さまへ

予定日に入院できますよう、この『入院のご案内』をお読みになり、お持ちものや手続きに必要なもの等を準備しておいてください。(7～9ページ参照)

■入院期間について

当院は急性期の医療を中心に行っております。病状等が安定し、退院が可能になりましたら、退院または転院等のご案内を主治医からご説明いたします。

■入院されるお部屋について

- 入院部屋は個室・準個室と大部屋があり、ご希望に沿ってできる限り調整いたしますが、**ベッドの空き状況、病状によってはご希望に沿えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。**

準個室をオープンいたしました

- **有料4人室準個室　¥2,200-(税込)/床**
  (A3病棟・A4病棟・A5病棟・A6病棟)

間仕切り家具、19型テレビ、Wi-Fiなど充実した設備も完備しております。小型冷蔵庫や鍵付き引き出しを設置した床頭台も完備し、個室感ある空間のなか気持ち穏やかに療養ができるくつろぎの空間です(テレビ・冷蔵庫・Wi-Fiのご利用料金は掛かりません)。

■その他

- ジェルネイル、マニキュア、ペディキュアをされている方は、検査等に支障をきたす場合がありますので、あらかじめ除去しておいてください。
- やむを得ず入院日の変更・取消をされる場合は、お早めに各科外来まで電話などにてご連絡ください。［TEL.0570-01-1114(ナビダイヤル)］

02 入院されるとき お持ちになるものについて

■身の回りのもの

患者さまにて下記の物品をご用意いただくようにお願いいたします。

□ 寝巻き類	□ 下着類	□ 靴下
□ タオル類	□ 洗面用具	□ ティッシュ
□ コップ	□ はし、スプーン等	□ 義歯ケース（義歯のある方）
□ シャンプー、ボディーソープ（共同でご利用もいただけます）		
□ 上履き（ご高齢の方は転倒の危険があるためスリッパはご遠慮ください）		

当院では、ご準備されるご家族の負担軽減および院内における感染・衛生管理の観点から、入院されるときに必要なアメニティ品等を有料でご用意しております。（別紙）

ご不明な点につきましては、各科窓口もしくは病棟看護師へお問い合わせください。

■お薬関係のもの

① 現在使用中のお薬。

② お薬手帳を必ずご持参ください。
（お持ちでない場合は、現在使用中のお薬の飲み方がわかるものを持参してください）

■その他

① 貴重品および現金は、万一、紛失・盗難等にあいましても病院では責任を負いかねますので十分ご注意ください。なお、床頭台の引き出し内に備え付けてあるセイフティボックスをご利用ください。セイフティボックスの鍵および私物のお預りは一切いたしませんのでご了承ください。

② 私物の管理について
お持ちになった私物（義歯・めがね・補聴器等）は、原則として患者さまご自身の管理とさせていただきます。紛失等が発生した場合、病院は責任を負いかねますので、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

③ 転倒・転落の予防のため、かかとのある靴を推奨しています。ご協力をお願いいたします。

④ 乳幼児の場合は、ミルクをご用意ください。

03 入院手続きについて

入院の手続きは、「入退院窓口」（B館東棟１階）で行います。

入退院窓口	受付時間	平　日　9:00～16:30
		土曜日　9:00～12:30

※上記の受付時間以外は「救急受付窓口」（A館1階）で承ります。

■手続きに必要なもの

○入院誓約書
○マイナ保険証（または資格確認書）
○今回ご入院される３ヶ月以内に他院等の入院歴のある方は、手続きの際にお申し出ください。また、退院証明書をお持ちの方はご提示ください。

■入院誓約書

内容をよくお読みになり、記入漏れや押印漏れのないようお願いいたします。

■その他

ご不明な点やご相談等ございましたら、「入退院窓口」（B館東棟1階）までお問い合わせください。

【お問い合わせ】 0570－01－1114

※音声ガイダンスに従って「６番」を選択し、その後、電話交換手に「入退院窓口」へ繋ぐようお伝えください。

04 入院中の過ごし方について

■入院中の過ごし方

① 入院中の検査・回診などについてはその都度ご説明いたします。
② 病棟を離れる際は看護師に声をおかけください。
③ 消灯後はあかりを消しておやすみください。

■食事について

① 治療食の方は原則、病院食以外の物は召し上がれません。ご理解をお願いいたします。
② 食形態は病状により変更させていただきます。また、その際、えん下の評価を行う場合があります。ご協力をお願いいたします。
③ 食事時間は病棟によって多少異なりますが、下記の時間帯に配膳いたします。

朝 8:00〜8:15　昼 12:30〜12:45　夕 18:00〜18:15

④ 治療や検査のために、食事を止めたり検査が終わるまでお待ちいただくことがあります。
⑤ 食事が終わりましたら、トレイはワゴンにご返却ください。介助が必要な方はスタッフが取りに伺います。
⑥ トレイ内にのせた私物の食器等はご自身の管理になります。紛失等が発生した場合、病院は責任を負いかねますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
⑦ 食事に関するお問い合わせは管理栄養士がお答えいたしますので、看護師にお申し出ください。

■病室の利用について

① 病室は手術または病状によって移動していただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
② お荷物の収納は床頭台をご利用ください。なお、お荷物は最小限にお願いいたします。また、はさみ・ナイフ等の危険物は持ち込まないようご協力をお願いいたします。
③ 貴重品の保管は必ずセイフティボックスをご利用ください。(鍵の管理につきましては、必ず施錠をして身につけて保管してください)
④ 冷蔵庫は床頭台に備えております(有料)。使用方法は説明書をご覧ください。

■外出・外泊について

外出・外泊をご希望の際は手続きが必要となりますので、看護師を通じて主治医の許可をお受けください。

■本人確認について

検査・処置・投薬の際、ご本人に「お名前」を名乗っていただいております。ご協力をお願いいたします。

■院内感染予防について

- ディスポーザブルマスク、血液のついたアルコール綿などは医療廃棄物ですので、お手数ですが、ゴミ箱へ捨てずに職員にお声かけください。
- 検査や外来受診等の必要な場合を除き、院内での不要な移動はご遠慮ください。

■喫煙について

当院は敷地内全面禁煙（電子タバコを含む）となっております。

■テレビについて

① 備え付けのテレビを利用し、必ずイヤホンを使用するようお願いいたします。
（テレビ用イヤホンは院内コンビニエンスストアで販売しております）
② 消灯後のテレビ鑑賞は他の患者さまのご迷惑になりますのでご遠慮ください。
③ テレビカードはデイルームにある販売機でご購入ください。
1枚1,000円で、9時間30分（570分）ご利用いただけます。
（ただし、個室料金（室料差額）が発生する場合はテレビカード代は無料です）
なお、カードの残額は「入退院窓口」（B館東棟1階）前の精算機で払い戻しができます。
④ リモコンは入院時にお渡しいたしますので、退院の際は必ずスタッフステーションにお返しください。入院中に紛失の場合は自己負担となりますのでご了承ください。

■携帯電話の使用

当院では、「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」（総務省）に基づき、院内での携帯電話使用を以下のように制限しています。

使用禁止場所 手術室などの医療機器に影響があると思われる場所

使用可能場所 使用可能な表示のあるエリアでご使用ください。

利用可能時間　8:00〜21:00

►病棟

・多床病室では通話禁止。
・医療機器を使用していない個室は通話も可。※医師、看護師の許可がある場合に限ります。
・各階デイルーム

►外来（各館の1階フロア）

・A館：正面玄関入口付近のフロア／救急受付前のフロア
・B館：玄関入口付近（防風扉、電話BOX付近）
・C館：玄関入口付近（防風扉、電話BOX付近）
・D館：玄関入口付近（防風扉）
・E館：玄関入口付近（防風扉）

►**院内での携帯電話の使用に関して、以下の点にご注意ください。**

・使用可能エリア内であっても、１m以内に医療機器を使用している患者さまがいる場合は、使用を避けてください。

・院内では携帯電話をマナーモードに切り替えてください。

・通話をされる際は周りの方へ配慮し、出来る限り短い時間で終わらせてください。

ペースメーカーをご使用の方へ

総務省及び電波環境協議会により、全機種の植込み型心臓ペースメーカーについて調査したところ、携帯電話から15㎝程度離せば安全であることが発表されております。

また、万が一ご心配な方は、使用可能エリアにはお近づきにならないようにご注意ください。

■火災等災害発生の際の心得について

入院したら

各室に避難通路、階段、非常口等を示した図面が掲示してありますので、入院後、**自分の病室の位置から非常口までの経路**をご確認ください。

火災になったら

① 混乱を起こさぬよう、医師・看護師等の職員の誘導に従ってください。

② **エレベーターの使用は厳禁とします。**出火場所に近いエレベーターの昇降路や階段は火煙の通路となり非常に危険です。また電気の断線等でエレベーターが停止し、脱出ができなくなります。

③ 所持品は持たずに、まず避難してください。

④ スリッパ等歩きにくいものは脱ぎ捨ててください。

⑤ 避難するときは必ずタオル等で鼻口をおおってください。

⑥ 煙を避けるときはできるだけ姿勢を低く、急ぎ足で避難してください。煙は床に近ければ近いほど、また壁に近いほど薄くなっています。

⑦ 階段を降りる場合は手すりを使用して降りてください。

出火地点が

① 自分の位置より上の場合は屋内階段から逃げてください。

② 自分の階だったら、出火地点から離れた方向の避難階段から逃げてください。

③ 自分の位置より下の階だったら避難階段周辺に火煙がなく、下へ容易に避難できるときは下へ、下が煙りで逃げられない場合は屋上へ避難してください。

屋上に避難したら

屋外階段で下に降りてください。

屋外に避難したら

① 指示に従い、第２駐車場に集合してください。そこで病棟ごとに患者さまの確認を行います。

② 忘れ物等があっても再び建物内に戻ったりすることは絶対にしないでください。

■その他

① 洗濯は、C館屋上のコインランドリー、またはA館各階で行えます。業者による有料クリーニングも承ります。売店にて指定のランドリーバックを購入してお申し込みください。(ランドリーバック1枚1,000円)

② 病院の施設や貸与物品等は大切にしてください。故意または過失のある損傷や紛失等の場合は実費をいただくことがあります。

③ 院内でのパソコン・携帯ゲーム機等の使用に関して、以下の点にご注意ください。

・使用時は周りの方へ配慮し、消音またはイヤホンをご使用ください。
・消灯後の使用は、他の患者さまの迷惑になりますのでご遠慮ください。
・紛失・盗難等に関しましては病院では責任を負いかねます。
・医療機器の使用時は、電源確保のため使用をお控えいただきます。

※ 院内フリーWi-Fiサービスをご利用いただけます。病棟に掲示されている利用規約に同意の上、ご自身の責任においてご利用ください。
ネットワーク名：todachuo-free　パスワード：freewifi2023

④ 院内での暴言・暴力やセクシャルハラスメントは、患者さまと医療者との信頼関係を損ない診療に支障をきたしますので、警察に通報、また場合によっては退院していただくことがあります。

05 ご家族の皆さまへ

■駐車場料金について

	料　金
外来受診・お見舞いの方	3時間まで300円　以降30分／100円
一般利用の方	1時間／600円（繰り返し）

※外来受診・お見舞いの方は、割引処理をすれば駐車から20分無料となります。

■駐車場料金の割引手続き

平日17時までは「総合受付窓口」（A館1階）に、17時以降（土曜日は13時以降）と休日は「救急受付窓口」（A館1階）にご提示ください。割引手続きをいたします。

■面会をお断りする場合

① 病状によって面会をお断りしたり、時間を制限することがあります。
② 酒気を帯びての面会はお断りいたします。

■感染予防について

当院では感染対策委員会を設け、感染予防に努めております。
① **12才以下のお子さま**の面会はご遠慮願います。
② 病室への出入りの際には、入口に設置してあります消毒液で手指を消毒してください。
③ 感染予防上、病室の移動や面会時のマスクの使用をお願いすることがあります。
※マスクは院内玄関入口の自動販売機でお求めください。また、各病棟にも自動販売機を設置しております。

■付き添いを希望される方

原則的に付き添いの必要はありません。ただし、ご希望の方は看護師にご相談ください。患者さまの状態によってはお願いすることがあります。

■ご面会の時間は

患者さまの治療と安静を考えて下記のように決められております。

	平　日	休　日（日・祝日）
一般病棟	11:00～20:00	
ICU（集中治療室）・CCU	その都度、看護師にご確認ください。	

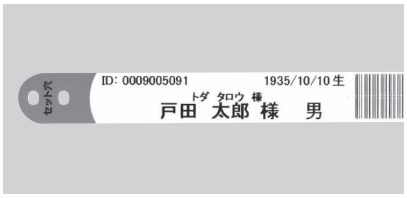
■ご面会の方へ

① ご面会受付の際、当日予定入院の方につきましては「入退院窓口」（B館東棟1階）へ、それ以外の方は「救急受付窓口」（A館1階）へお申し出ください。
② お見舞い用の生花や鉢植えは、衛生管理の問題から病室への持ち込みはご遠慮ください。

■病室内での飲食は

面会者の方はなるべくご遠慮いただくようお願いいたします。召し上がる際は、デイルームをご利用ください。

06 医療安全上のお願い



■患者さまの確認

① お名前の確認について

あらゆる場面で患者さまご自身から、ご自分のお名前を名乗っていただきますので、ご協力ください。

② ネームバンド（患者識別バンド）について

- 患者さまには、安全確保のためにネームバンドを着けていただいております。ネームバンドとは、「患者さまを正しく確認する」ために、患者さまの手首または足首に装着していただくものです。ネームバンドには、氏名・ID番号・バーコードが印刷されています。採血・注射・輸血・検査・与薬・その他の医療場面で、実施前に患者さまご本人であることをネームバンドで照合します。
- ネームバンドは容易に脱落しない構造になっています。外出・外泊も、原則として装着のままでお願いいたします。
- 柔らかい素材（ビニール製品）を使用していますが、皮膚が赤くなる等のアレルギー様症状、皮膚を傷つけた、きつい等の場合は、遠慮なく看護師・医師にお知らせください。

■手術前のマーキング（しるし）について

手術部位の間違いを防止する目的で、全ての手術予定の患者さまに、手術部位にマーキングを行っております。

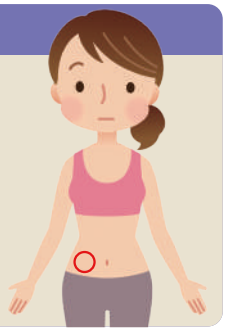
医師から手術説明を受けた後、患者さまの同意のもと、医師が手術部位の皮膚にマークをおつけします。

マーキング方法

手術部位（患側）が判るように、皮膚専用ペンで印をつけます。印は時間は要しますが、徐々に消えます。

マーキングのメリットって？

- マーキングを行うことで、特に左右間違いが防止できます。
- マーキングに患者さまが参加することで、治療目的を共有できます。
- 手術前に、複数の職員がチェックリストで確認し、麻酔・手術が適正に行われます。



■入院中の眠剤・安定剤等の内服について

入院に伴い、ご自宅と違う環境の変化・精神的不安などから不眠症状を訴える患者さまがいらっしゃいます。眠剤・安定剤等の内服を希望される患者さまには、薬剤内服によりふらついたりして思わぬ転倒、ベッドからの転落等の事故が少なからず発生しています。眠剤・安定剤の安易な内服は危険ですので、事前に主治医にご相談くださいますようお願いいたします。

はいけっせんそくせんしょう

肺血栓塞栓症の予防法

自ら行う

肺血栓塞栓症（エコノミークラス症候群）とは

肺の血管に血栓（血のかたまり）が詰まって、突然、呼吸困難や胸痛、動悸（ドキドキする）などを起こす病気です。

※この病気は、長時間飛行機に乗った際に足の血流が悪くなり起こったことから「エコノミークラス症候群」とも呼ばれています。

どうして起こるの？

入院後、ベッド上で足を動かさないでいると、足の血の流れが悪くなり、血栓ができやすくなります。その血栓が何らかのきっかけで肺まで流れて起こります。

肺血栓塞栓症を予防するためにできること

出来る範囲で足先を前後に動かしましょう。

そうすることで足の筋肉が動き、
血のめぐりがよくなります。

POINT！

※足首を動かすことについては、医師の許可を得てから実施しましょう。

こんなときは？

いつもと違う症状

- ●息苦しさ　●胸痛
- ●動悸（ドキドキする）
- ●足の痛み　など

があったときは、医師・看護師に伝えましょう。

医療機関名　戸田中央総合病院

入院中の患者様・ご家族の方へご案内

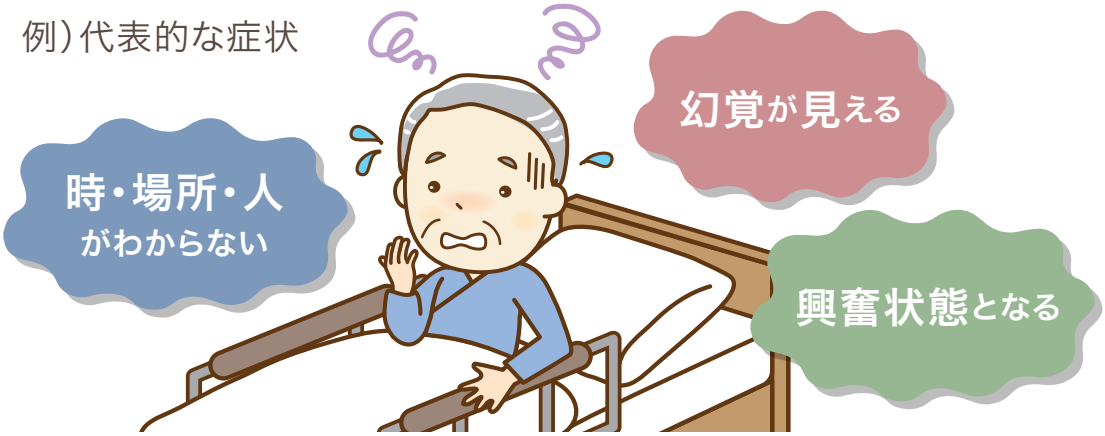
「せん妄」について

号室　　様

1 「せん妄」とは

意識のぼんやりした状態に加えて、錯覚や幻覚・妄想・興奮などがみられる状態のことです。
せん妄の症状は認知症と似ていますが、症状は一過性でもとに戻ることが特徴です。
入院などの環境の変化によって起こりやすくなります。

例）代表的な症状



2 どんな人に起りやすい？

- 高齢
- 以前にせん妄になったことがある方
- 認知症や物忘れのある方
- 重症化する身体疾患
- 飲酒量の多い方
- 視力低下や難聴のある方
- 手術後の方（疼痛のある方）
- 脱水・低酸素症の方
- 多剤服用をしている方
- 睡眠障害のある方

③「せん妄」になってしまったら

- 原因となる疾患を治療したり、身体の苦痛を緩和できるように医師、看護師、薬剤師等の医療者全員で関わります。
- 生活のリズムをつけることが重要です。なるべく日中は覚醒を促し、夜間は眠れるよう配慮します。
- 夜間の睡眠や休息が十分に取れない場合、症状が悪化する可能性があります。そのような場合は精神科医師と相談し、お薬を検討する場合があります。
- 患者様の安全が守れないと判断した場合、ご家族の了承を得た上で、一時的に抑制を行わせて頂くことがあります。

④ ご家族へのおねがい

- ご家族がいることによって、患者様が安心を得られ、症状が落ち着くことがありますので、面会の回数や時間を増やしてもらったり、個室の場合は夜間の付き添いをお願いする場合があります。

質問などがありましたら、医師、看護師、薬剤師等の医療者にお声掛けください。

07 お会計について

■入院費（定期請求）のお支払いについて

毎月、月末に締め切り、翌月10日前後にご請求いたします。請求書がお手元に届きましたら、3日以内に自動精算機（A館1階）にてお支払いください。

※退院の際は随時、請求書をお渡しいたします。

■入院費の精算場所・お取り扱い時間について

- 精算場所（入院中・退院時）：自動精算機（A館1階）
- お取り扱い時間：月曜日～金曜日 9:00～16:30、土曜日 9:00～12:30

※自動精算機は、日曜日・祝日（年末年始含む）は行っておりません。

※自動精算機での支払いについて、ご請求内容の都合上、利用できない場合がございます。その際は、入退院窓口へお声掛けください。

■お支払い方法について

「入退院窓口」受付時間内につきましては現金でのお支払い以外に、クレジットカード（VISA、マスター、JCB、アメリカンエキスプレス、ダイナースクラブ、ディスカバー）でも入院費のお支払いができます。

お支払いの際、クレジットカードを提示していただきますので、忘れずにお持ちください。

■お問い合わせ

ご不明な点がございましたら、お支払いの前に病棟担当事務がお答えいたしますので、看護師または直接「入退院窓口」（B館東棟1階）までお申し出ください。

入院された後に保険証などの内容が変更になった際は、「入退院窓口」（B館東棟1階）・時間外は「救急受付窓口」（A館1階）へお申し出ください。

08 退院手続きについて

■退院決定後は

退院が決まりましたら、看護師・薬剤師がご説明にうかがいます。

※退院は原則として、午前中にお願いいたします。

■精算は

請求書ができましたら病室へお届けいたしますので、自動精算機（A館1階）にてお支払いください。

高額療養費制度について

入院されると医療機関の窓口で支払う医療費(自己負担額)が高額となる場合がございます。高額療養費制度は、保険者に申請することで自己負担額の超過分が払い戻される制度です。入院時に「限度額適用認定」の手続きを行うと、高額な療養費を一時的に立て替える必要がなく、窓口負担が軽減されます。

※保険者とは、健康保険組合・社会保険組合・社会保険事務所(全国健康保険協会)または、 市区町村(国民健康保険)などを指し、加入されている保険ごとに異なります。

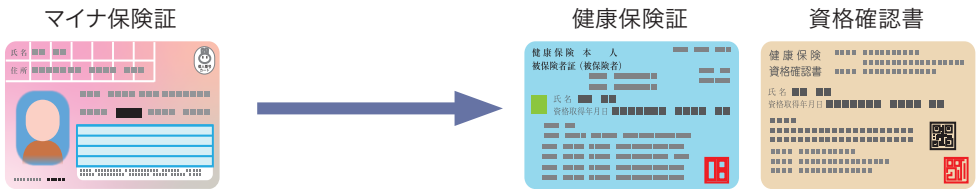
1. 限度額適用認定お手続きの流れ

パターン1 マイナ保険証をご利用の場合

① 入退院窓口へ提出

顔認証またはマイナンバーカードの暗証番号(数字4桁)の入力によって本人確認を行います。

② 当院で限度額区分の照会が可能となる



マイナ保険証をお持ちでない場合は、下記の［**パターン2**］にてお手続きください。

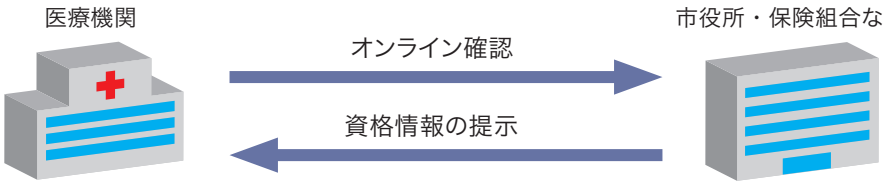
パターン2 保険証(資格確認書)によるオンライン認証の場合

① 申請

入院誓約書5)に記載のとおり、情報提供に同意いただきます。

② 当院にてオンラインで直接保険者へ限度額区分の照会を行う

一部オンライン認証に対応していない保険者もあり、その際は医事課担当者よりお声がけいたしますので、恐れ入りますが患者さまご自身で保険者へ申請をお願いいたします。



2. 対象者

健康保険に加入する全ての方。

ただし、国民健康保険に加入で保険料滞納世帯の方は原則対象外となります。

3. 使用について

医療機関に入院する際は、必ず「マイナ保険証(または資格確認書)」を窓口に提示してください。入院月の月末までに提示がない場合は適用されません。

窓口負担額は、1ヶ月につき、医療機関ごと、入院・外来それぞれの自己負担限度額までとなります。なお、食事の負担額や差額ベッド代などの費用は高額療養費の支給対象になりません。

不明点・ご質問は、入退院窓口へお尋ねください。

09 その他

■医療福祉相談室のご案内

様々な心配ごとについて、医療ソーシャルワーカーが一緒に考え、解決へのお手伝いをしております。

プライバシーは必ずお守りいたします。遠慮なくご相談ください。

■がん相談支援センター

がんに関する悩みや疑問について専門のスタッフがサポートいたします。

■交通事故でご入院される患者さまへ

交通事故に関する診療は、原則として自動車賠償責任保険（自賠責）を使用することになっております。当院には交通事故の担当者がおりますので、お支払い等にご不明な点がございましたら「総合受付窓口」（A館1階）へご相談ください。

■売店・食堂等

- 売店はB館1階にございます。

営業時間：月 ～ 金　8:00から17:00
　　土　　8:00から14:00
　　日 ・ 祝　10:00から14:00

- タリーズコーヒーはA館1階にございます。

営業時間：月 ～ 金　7:30から19:00
　　土　　7:30から16:00
　　日 ・ 祝　休み

※営業時間は予告なく変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■謝礼のお断り

医師、看護師など病院職員に対する謝礼、贈答品等は固くお断りいたします。

■当院に対するご意見・ご要望

当院では患者さまへのサービスの充実に努めておりますが、病院内の設備や職員の対応等でお気づきの点がございましたら、職員にご意見・ご感想をお聞かせください。各病棟・外来フロアにご意見箱を設置しております。

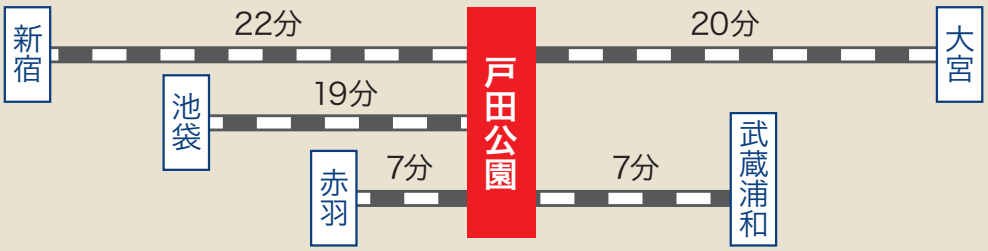
■周辺マップ

※入院中のご駐車は、お断りしておりますので、ご了承ください。

■交通アクセス

J R 埼 京 線	**「戸田公園」駅 東口より　徒歩5分**
JR京浜東北線	**「西川口」駅 西口より　国際興業バス（西川62、西川63） 「上戸田地域交流センター」バス停下車　徒歩2分**
	「蕨」駅 西口より　国際興業バス（蕨55） 「戸田公園駅東口」バス停下車　徒歩5分

■各駅からの所要時間



TMG
戸田中央メディカルケアグループ
Toda Medicalcare Group

医療法人社団東光会 戸田中央総合病院
〒335-0023 埼玉県戸田市本町1-19-3
ナビダイヤル 0570-01-1114　FAX.048-443-0104
https://www.chuobyoin.or.jp/

TMG
Toda Medicalcare Group

https://www.chuobyoin.or.jp

[2026.9] REVISION